

令和7年度 港川こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。(1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)) ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実		評価点の計（最大値35）
		25.7
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.3
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	3.2
3	一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	4.1
4	幼児の主体的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	3.7
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	4.1
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.7
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	3.8
2 教育・保育の質の向上		評価点の計（最大値50）
		35.0
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	3.7
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	3.6
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.4
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	3.4
5	幼児の自発的な活動を促がす環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	3.5
6	保幼小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	3.2
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	3.0
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	4.0
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	3.9
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.5
3 子育ての支援の充実		評価点の計（最大値35）
		25.8
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	4.1
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	3.6
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	3.2
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	3.7
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ的確である。	4.0
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防につき手、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.5
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	3.8
【取組状況に関するコメント】		評価点の合計（最大値120）
		86.4
【保育教諭の意見等】		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で積極的にコミュニケーションをとり、情報共有を大切にしながら、よりよい保育ができるようになりたい。 また、保護者との関わりにおいても、子育てや幼児理解に必要な情報を丁寧に伝えていながら家庭での様子や悩みに耳を傾け、信頼関係を築きながら対応力を高めていきたい。園でのケガやトラブルの時には状況を分かりやすく伝え、安心できるような説明や対応ができるようになりたい。 ・これまでと比べて落ち着いて子どもに向き合う事ができているように感じる。 ・個別の対応を要する子が多く、他の職員との情報交換や連携が手薄になってしまうことがある。 ・加配の子や援助が必要な子に対する対応が十分でないと感じる。 ・日々の保育に追われ、4月に立てた学級目標や保育目標が抜け落ちていたと感じた。残り数か月、学級の特色に合わせた教育・保育を行っていきたい。 ・日々の活動に手一杯になり、子ども達の育ちにあった保育環境等を工夫したいが、中々手がつけられなかったり、小学校との連携の面では、年中担当ということもあり取り組み方の難しさを感じた。 ・書類に対してもう少し早く取り組めればよかった。 ・互いの挑戦を認め合い、安心と自信を育むことのできる学級、子ども一人ひとりを大切に、子どものことで他の職員とも情報交換できる雰囲気づくりを大切にしながら、子育て支援、保護者が子どもの事で安心してなんでも相談できる雰囲気をつくっていききたいです。 ・環境構成 ・日々の活動に手一杯になり、子ども達の育ちに工夫したいが、中々手がつけられなかったり、小学校との連携の面では、年中担当ということもあり取り組み方の難しさを感じた。 ・期限内提出ができるよう書類に対してもう少し早く取り組めればよかった。 ・互いの挑戦を認め合い、安心と自信を育むことのできる学級、子ども一人ひとりを大切に、子どものことで他の職員とも情報交換できる雰囲気づくりを大切にしながら、子育て支援、保護者が子どもの事で安心してなんでも相談できる雰囲気をつくっていききたい。 ・環境構成等気づいたことがあっても日々の保育や時間に追われずぐにできないことがある。土曜日等を利用してはいるが、前もって進められるように計画的に対応していく。 ・部分的に主担任のみにしか当てはまらない内容がありましたが、支援児やクラス児との関わりについて置き換えて評価しました。 		

- ・クラスの実態に合わせてサポートを心掛けていますが、学級担任の方針などしっかり把握できていない所もあるため共通理解していけるようにしていきたい。
- ・個別の対応を要する子に対して学級内での過ごし方や関わりを十分に理解してあげられるような環境構成を工夫していきたい。
- ・私自身の勤務形態上、保護者と話す機会はあまりないが、園行事や読み聞かせ等、様々な機会を通して少しずつ家庭と連携・情報共有ができるようにしていきたい。子どもの様子は日々変化していくの自園の教育・保育目標を念頭に入れ、今日の前にいる子ども達が楽しく安全に過ごせるような活動が実践できるようにしていきたい。
- ・今年度は、自己研鑽に取り組めていないため専門書を読むなど保育の質を向上できるように努めていきたい。
- ・今年度は特に個別の支援を必要とする子どもが多くいたが、職員同士情報を共有し、助け合いながら対応することができていた。教育に関してはもう少しクラスによって差を感じる事も多くみられた。リズム遊びや製作、運動遊びなど経験を増やしていけるといいと思う。